

(形成外科)

1. 概要

2012年の手術総数は382件、診療内容は、皮膚外傷、指尖部切断、熱傷、瘢痕形成、皮膚良性腫瘍、あざ、顔面骨骨折、悪性腫瘍切除後再建、褥瘡、先天奇形などである。Qスイッチアレキサンドライトレーザー、炭酸ガスレーザーによるレーザー治療を行っている。血管腫に有効なレーザーは当院には導入されていないが、レーザー専門医の代務医師による血管腫外来を月2回行っている。

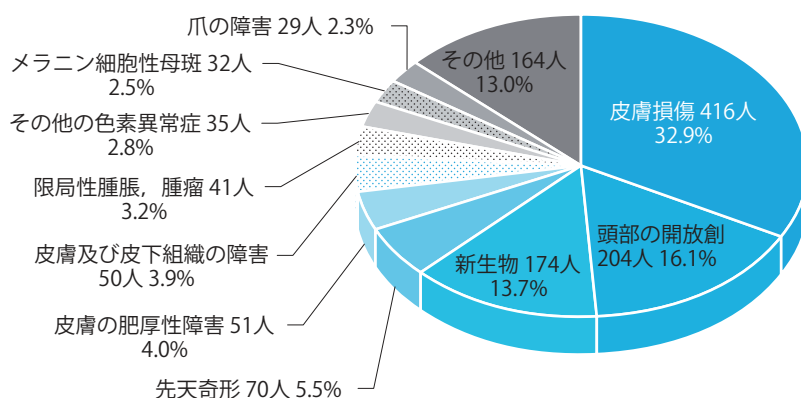
最近の傾向としては創傷に対する湿潤療法を積極的に行うことにより、従来手術を要していた熱傷、外傷性皮膚欠損、指尖部損傷、褥瘡なども多くが保存的治療のみで治癒するようになってきており、それに伴い手術件数はやや減少している。

当院では対応できない手術症例では大学病院（名大、愛知医大）とも連携して常に最新、かつ高度な治療が提供できるように心がけている。
 (柏崎喜宣)

形成外科

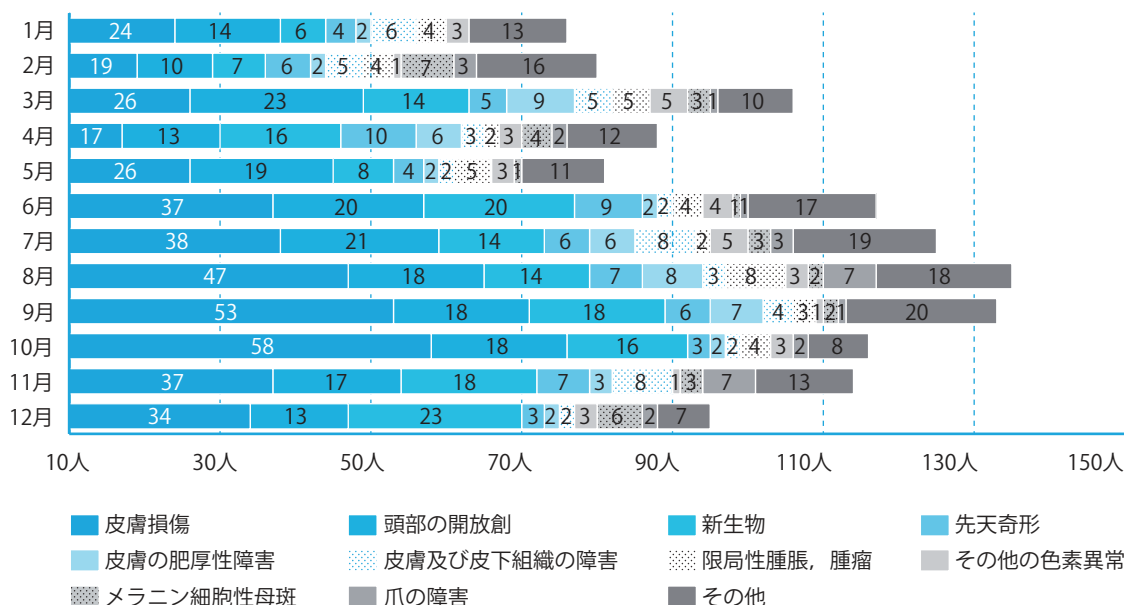
疾患別頻度

新患者数:1,266人



月別疾患別頻度

新患者数:1,266人



(1) 形成外科臨床集計

新患者数	1,955名
入院患者数	82名
手術件数	382件
全麻手術	80件
腰麻、伝達麻酔手術	5件
局麻手術	297件

手術内容区分

I 外傷	25件
II 先天異常	27件
III 腫瘍	189件
IV 瘢痕 ケロイド	33件
V 軟治性潰瘍	11件
VI 炎症 変性疾患	37件
VII その他	60件

学会発表

<形成外科>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	尋常性白斑に1ミリミニグラフト法を行った経験	樋口 朋子	第47回日本形成外科学会中部支部学術集会	2012/7/7
2	耳輪陥凹変形に対する Island Bridge Method の応用	大貫安紀子	第60回日本形成外科学会中部支部東海地方会	2012/10/20